



NISHIKU

私たち『はぐくみ』vol.2

NISHIKU 私たち『はぐくみ』 vol.2 hug kumi

発行日／平成27年3月

発行

新潟市西区役所 健康福祉課

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3-14-41

TEL025-264-7340 FAX025-269-1670

URL <http://www.city.niigata.lg.jp/nishi/>

企画・編集

hug kumi 編集委員会

hug kumi!

特集

hug kumi ママの座談会

「西区って、子育てしやすいですか？」

- 親子の居場所／地域子育て支援センター
- We are 子育てサポーターズ
- もっと外遊びがしたい
- 仕事復帰までにしておくこと
- コラム「しつけて何ですか？」

○坂井輪図書館リニューアル

○子どもと過ごす時間



子どもと一緒に外出は、
周りに迷惑をかけないようにと気をつかう
でも、私がどんな気をつけていても
子どもはおかまいなしに、
泣いたり、走ったり、大声出したり、わがまま言ったり
時々この子の親は私じゃありませんって、
すまして通り過ぎたくなる
きつと、みんな親の顔が見たいって思ってるんだ

そんな時、
「元気がいいね〜」「お母さんががんばってるね」って
声をかけてくれた人がいた
その一言で、私の固くなった心がほろほろほころんだ
きゅっと緊張したほほが緩んで、笑顔になった
そしたらね、急に困った子が元気のいい子に見えた
そうだよね、私がんばってるもん
見ていてくれる人がいる、声をかけてくれる人がいる
助けてくれる人がいる
明日からまたこの子と頑張ろう

もくじ

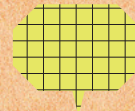
hug kumi ママの座談会	hug kumi コラム
「西区って、子育てしやすいですか？」… 02	「しつめてなんですか？」角張 慶子…… 19
親子の居場所・地域子育て支援センター 07	子どもと過ごす時間…………… 23
We are 子育てサポーターズ …………… 10	にいがた市の子育て支援ファミサポ …… 25
新潟市西区 hug kumi マップ…………… 11	STOP!! 児童虐待 …………… 27
もっと外遊びがしたい…………… 13	相談場所一覧…………… 29
仕事復帰までにしておくこと…………… 15	編集後記…………… 30
坂井輪図書館リニューアル…………… 17	



hug kumi ママの座談会

聞かせて

ママの
キモチ



西区って、子育てしやすいですか？

地域で子育てと言うけれど、子育て中のママたちは
どんなふうに思っているのでしょうか？
また、どんな手助けや、声掛けがあると、
地域で子育てしやすいと実感するのでしょうか？
手助けしたい人と、手助けしてほしい人が
うまく繋がるには何が必要なのでしょう？
リアルなママたちの声を聞いてみました。



F ファシリテーター

M hug kumiママ

F 西区で子育てしていて、地域と繋がりながら子育てしているという実感はありますか？

M 県外から引っ越してきたのですが、小学生を筆頭に3人の子どもがいるので、ご近所に「子どもがいるのでうるさくて申し訳ありません」とご挨拶したら、「子どもの声がして嬉しい」と言ってくれました。それからは、お野菜をいただいたり、子どもが帰ってくると「お帰り！」って声をかけてくれるので嬉しいです。

M 自治会の子ども会で、夏休みに小学生を映画やせんべい王国に連れて行ってくれます。きっかけがあると同じ町内の人たちと顔見知りになれるので、いい行事だなと思っています。

M 私の住んでいるところは、近所づきあいがほとんどなくて、特に日中お仕事に出ている方は、お隣りがどんな方なのかもわからないんですよ。なので、子どもを叱った時に「おかあさん、ごめんなさい！」って子どもに泣き叫ばれると、虐待で通報されたらどうしよう！！と、思わず窓を閉めてしまいます(笑)

M うちの外で子どもが泣いていると隣のおばあちゃんが「どうしたの？」と出てきてくれます…気にかけてもらって嬉しい反面、ご近所のうわさ話をされると、うちの事も見られてるんだな～とちょっと気になります。でも、見てくれる人がいるのは、防犯だったり安心な面もありますね。

M 小学生の息子が、大声で友達とおしゃべりしたり、リコーダーを吹きながら帰ってくると、ご近所に迷惑かと思って、つい叱ってしまうんです。本当は、楽しそうにしている子どもをあまり叱りたくはないんだけど…。



そういえば、道でリコーダーを吹く子いないね！

子どもの数が減って、子どもの声がするのが日常でない今日この頃「子どもの声がして嬉しい」と言ってもらえただけで、申し訳なさが減り、親は子どもを叱る回数が減ったり、緊張しないで子育てができるんですね。

Memo



F スーパーなどで、知らない人から声をかけられたり、注意をされるのはどう？

M スーパーに買い物に行ったときに「あら～かわいいね」って声をかけてくれる方がいます。それは、とても嬉しかったです！

M うんうん、この間、子ども用カートが子どもが押している時に「お手伝いしてえらいね」と声をかけてくれて、子どもも嬉しいし、私も嬉しかったなあ。

M 子どもが「パンを買って～」って駄々をこねていた時に、私が「今日はパンは買わないの！」と言っても子どもがきかないのを見て、おじさんが「今日はパン買わないんだって」と言ってくれ、子どもがあきらめてくれてホント助かりました～。





M 子どもがダーっと店の中を走って行ったので追いかけたんだけど、鬼ごっこをしている気になったのか、どんどん走り回って、全然追いつかなかったことがあったんです。周りに人がたくさんいたのに、だれも子どもに声をかけてくれなくて、冷たい視線だけを感じて切なかったなあ。

M そんな時は私のしつけが悪いと思われてるのでは…と、ホントに肩身が狭いんですね。

危ないことは注意してほしいね！

Memo



子どもが悪いことをしている時、親が手を焼いている時は、親と同じ目線で声をかけてくれると嬉しいんですね。ママ達は冷たい視線を感じるのが一番つらいと感じています！



F 地域には、子育てに手を貸したい人たちが沢山いるのですが、どうしていいのか分からないのです。具体的に何か手助けできることなどありますか？

M 県外にいた時に、私の体調が悪いのを知って、近所のママ友が子どもを預かってくれました。新潟では、実家に助けてもらう人が多くて、ママ友同士で助け合う必要がないみたい。通勤族は、助けてくれる人がいなくて大変です！

M 近所と言っても、交流が無いと、どんな人かも分からないし、挨拶だけで終わってます。ほどよい距離感で付き合いできるといいんだけど…

M 私も回覧板をポストに入れちゃうので、ご近所と言っても挨拶程度の関係になってますね。

M 子育て支援センターに行っても、ほかの年代の人や近所の人と知り合う機会はないですね。



M 大人も子どもも年配者もいろんな人が来れる居場所が近所にあると、知り合うきっかけになるんじゃない？

M そうだね、子育てだけじゃなくて、毎日のお料理のアイデアとか生活の知恵とか教えてもらえると私は嬉しいな。



近所に、多世代が交流できる「お茶の間」があると、地域で人と人が繋がるきっかけになりそう。しかし、子育て中の人の行くところ、年配の方の行くところ、それぞれの居場所が横のつながりだけになっているのが現状のようです。

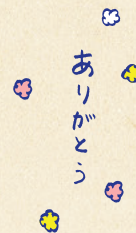
Memo



「ごめんなさい」を「ありがとう」に

子どもを連れて出ると、「ごめんなさい」ばかり言っているみたい。子どもが何かしでかすたびに、声にはならない冷たい視線で見られているようで「ごめんなさい」と言ってしまう。

子どもが危ないことをしている時に注意してくれて「ありがとう」。困っている私を助けてくれて「ありがとう」。子どものことを褒めてくれて「ありがとう」。地域で子育てって「ごめんなさい」を「ありがとう」に変えることかもしれません。



親子の居場所

西区には地域ごとに9か所の親子の居場所があります。
それぞれ特色があるので、自分に合った居場所を見つけましょう。
昨年、掲載しきれなかった所を紹介します。



わたしたちが取材に行ってきました！

地域子育て支援センター

地域子育て支援センターは保育士や保健師による子育て相談、親子遊びやフリースペースの開放などを行っています。
情報交換や友だち作りなど、親子で楽しく過ごせます。



昨年、掲載できなかった6か所を取材してきました！

黒崎子育て支援センター「ほほえみ」

0歳の赤ちゃんから未就園児まで安心して遊べます。誕生会、わらべうた遊び、ミュージック・ケアなど気軽に参加できる様々なイベントが行われ、楽しいことがいっぱい!!子育ての心配事も随時お聞きしています。



ママの取材 memo 年齢に応じて日にちが分かれているので、小さいお子さんでも安心して遊べます。窓から新幹線も見えましたよ。

お問い合わせ

黒崎子育て支援センター「ほほえみ」
TEL025-379-0045
会場／黒崎なかよし保育園併設(新潟市西区鳥原923)

活動日時／月曜日～金曜日 9時～11時半
13時～15時半
土曜日 9時～11時半
駐車場／10台

親子の居場所「虹の部屋」

内野コミュニティ協議会主催の親子で気軽に集える居場所です。畳と広い板の間があり、ゆったり遊べます。自由遊びの後、キーボード演奏で子ども達を紹介して始まります。色々なイベントも計画しています。



ママの取材 memo

地域の方々が、スタッフとして駐車場から出迎えてくれます。学生ボランティアによる手遊びもありますよ。

お問い合わせ

「虹の部屋」
TEL025-263-1425 [担当：坪井]
会場／西区役所西出張所分庁舎1階
(新潟市西区内野町471)

活動日時／毎月第1水曜日 10時～11時半
駐車場／15台(案内係がいます)
利用料／無料

地域子育て支援センター「たんぽぽ」

保育園に併設されているので保育園での園児の様子を見る事もできます。園児とスタッフの関わりの中から子育てのヒントが見つかるかも知れません。絵本、手遊び、身体測定その他に保育園の季節行事にも参加できます。



ママの取材 memo

和室やホール、園庭でも遊べるので赤ちゃんから幼児まで楽しめます。保育付きの赤ちゃん講座もあります。

お問い合わせ

地域子育て支援センター「たんぽぽ」
TEL025-268-3132
会場／新通保育園内(新潟市西区新通872-2)

活動日時／月曜日～金曜日 8時～13時
土曜日 8時～12時
駐車場／20台
その他／食物持ち込み不可・飲み物持ち込み可

地域子育て支援センター「ひだまり」

四季折々の自然を体感できる佐潟の目の前にあります。ホールでは玩具であそんだり、リズムあそびや絵本の読み聞かせ、わらべうたも楽しんでいます。多世代の交流もあり、子育ての悩みを仲良く話しています。



ママの取材 memo

アットホームな雰囲気、園庭やホールも開放しています。天気の良い日は佐潟公園へのお散歩もあります。

お問い合わせ

地域子育て支援センター「ひだまり」
TEL025-239-3155
会場／なの花保育園内(西区赤塚2362-1)

活動日時／月曜日～金曜日 9時～12時
13時～15時
駐車場／35台(第2駐車場含め)
その他／ジュース、食事不可(水又はお茶は可)

地域子育て支援センター「ひよこ」

小さなお庭と平屋建てのお家で、家庭的な雰囲気を大切にしています。子育てに関する悩みや相談を親身になって聞いてくれるスタッフもおります。手作りおもちゃを備え、ミニ集会で親子遊びや手遊びを楽しめます。



ママの取材 memo 温かい雰囲気ですっきり過ごせます。テラス越しには季節の花や野菜でにぎわう庭があり、外遊びも楽しめます。

お問い合わせ 地域子育て支援センター「ひよこ」 TEL025-260-2128 会場／愛慈保育園併設(新潟市西区上新栄町1-3-9) 活動日時／月曜日～金曜日 9時半～12時 13時～15時半 駐車場／15台

地域子育て支援センター「あそびの森つばさピエロハウス」

大きなシンボルツリー『ゆのみの木』がある広い園庭を開放しています。夏はプール開放、スタッフによる親子遊び、お誕生会、育児講座の他、「にこにこピエロの日(育児相談)」があります。畳コーナーでお弁当も食べられます。



ママの取材 memo 自由遊び→片付け→おやつ→先生と遊ぶ、と1日の流れがあるので、メリハリある時間を過ごすことができますよ。

お問い合わせ 地域子育て支援センター「あそびの森つばさピエロハウス」 TEL025-262-3311 会場／あそびの森つばさ保育園・金鶏つばさ幼稚園内(新潟市西区大学南2-24-24) 活動日時／月曜日～金曜日 9時～14時 駐車場／50台 その他／昼食持参可

有明子育て支援センター

1階の広い体育遊戯室の他、2階のプレイルームではおもちゃ遊びができ、昼食もとれます。主な活動としては、子育て相談や年齢に合わせた親子の広場、もちつき会や豆まき会などの季節の行事も行っています。



ママの取材 memo 体育遊戯室では子どもが走ったり、自転車に乗ったりしています。思いきり動き回りたいお子さんにおすすめです。

お問い合わせ 「有明子育て支援センター」 TEL025-267-7311 会場／有明児童センター内(新潟市西区西有明町1-80) 活動日時／月曜日～土曜日 10時～16時 駐車場／20台 その他／昼食など飲食可

Nice Support!!



民生委員
横尾松治さん

子育て中のお母さんの相談をお聞きしています。困ったり悩んだりしたら、一人で抱え込まずにいつでも話を聞かせてください。一緒にいい方法を考えましょう。各地域の民生委員にお声掛けください。

地域には子育てをサポートしてくれている人たちがこんなに大勢います。

We are 子育て サポーターズ

店内では、子どもたちに覚えてもらえるように、声をかけています。私と子どもたちがしゃべっている間に、安心してご購入をする助けになればと思っています。

温かいまなざしを持った
子育てサポーターをご紹介します。

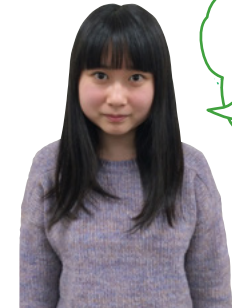


Nice Support!!



スーパーの店長
水戸さん

講演会の時に保育を担当した大学生
松川美穂さん



保育中は、終始子どもたちの笑顔に癒されて、あっという間に時間が過ぎました。誰もけがをせず、仲よく遊んでいたのほっとしました。子どもたちは初対面でしたが、すぐに仲良くなれたのでとてもうれしかったです。

Nice Support!!

自分の子どもはもう大きくなりましたが、子どもが大好きで親子の居場所に通っています。ママたちから「居てくれるだけで助かります!」と言われて、ママの助けになっているのだと気づきました。ママ同士でゆっくりおしゃべりをしてリフレッシュしてくれたらと思っています。

Nice Support!!



親子の居場所に通う
Hさん

NIIGATA Nishi Ward hug kumi map

親子の居場所

- ①『立仏ふなっ子』運営委員会 西区立仏1094(焼酎自治会集会所) TEL025-378-7451
- ②五十嵐コミュニティ協議会「ふうせんクラブ」 西區上新栄町4-5-68(五十嵐コミュニティハウス) TEL025-260-6002
- ③西内野コミュニティ協議会「こぼとの会」 西區内野上新町11810(西コミュニティセンター) TEL025-261-0387
- ④東青山小学校区コミュニティ協議会「東青山すくすく広場」 西區青山二丁目(イオン新潟青山店 2F) TEL025-267-4177
- ⑤『虹の部屋』運営委員会 西區内野471(西區役所西出張所分庁舎 1F) TEL025-263-1425
- ⑥子育て支援施設「ドリームハウス」 西區寺尾東3-9-30 TEL025-268-2666
- ⑦『にいがたっ子☆スペースくろさき』 西區金巻772-1(黒埼健康センター内) TEL025-226-1193
- ⑧『はっぴいmamaはうす』 西區赤塚17 TEL080-3013-0557
- ⑨子育て応援サポートセンター「うん♡まんま」 西區寺尾上3-10-4(新潟西おやこ劇場 2F) TEL025-269-6636

地域子育て支援センター

- ⑩『たんぼぼ』 西區新通872-2(新通保育園内) TEL025-268-3132
 - ⑪『ほほえみ』 西區鳥原923(黒埼なかよし保育園併設) TEL025-379-0045
 - ⑫『ひだまり』 西區赤塚2362-1(なの花保育園内) TEL025-239-3155
 - ⑬『ひよこ』 西區上新栄町1-3-9(愛慈保育園併設) TEL025-260-2128
 - ⑭『愛らんど』 西區五十嵐東3-11-18(松の実第二保育園併設) TEL025-260-2112
 - ⑮『あそびの森つばさピエロハウス』 西區大学南2-24-24(あそびの森つばさ保育園・金鶏つばさ幼稚園内) TEL025-262-3311
 - ⑯『コアランド』 西區寺尾上1-6-55(寺尾幼稚園・こりす保育園内) TEL025-260-1128
 - ⑰『有明子育て支援センター』 西區西有明町1-80(有明児童センター内) TEL025-267-7311
- ママ友・パパ友をつくらう!
- ⑱坂井輪児童館『ビビョクラブ』 西區寺尾上3-10-42(坂井輪児童館内) TEL025-269-3154



もっと外遊びがしたい

子どもにとって外遊びは、自然の中で砂や水に触ったり、花の香りをかいだり虫を見つけたり、五感を刺激する遊びが満載です。子育てにとって公園は最強アイテム!そこでこんな公園があったらいいなを考えてみました。



おもいきり
かけまわれるひろーい
広場があるといいな。

ぐるぐるまわったり、ただひたすら走ったり。子どもの遊びは無限です。広場に大きな遊具や小さな子どもでも安心な遊具があれば、登ったり下りたりと運動もできていいね。



青空ランチャ
バーベキューが
できるといいね!

芝生の上でマットを広げ
おにぎりをほおばる。
空の下でのお昼ごはんも
楽しいひととき。

バーベキューができる活動や
パパ同士の交流も深まりそう。



歩いていける場所に公園を。

転勤族のママに限らず車を持たない人もいます。ベビーカーや自転車などで行ける公園が近くにあるといいですね。大きな木の日陰でほっと一息できるといいな。



草すべり、
ソリ遊びができる
小さな山があるといいね!

小川が流れていて、
水遊びもできるといいね。

斜面を段ボールですべったり、
草の上をころころ
ころげ落ちてみたり、
冬にはソリで雪の上をすべれる
お山があるといいね。



子どもは水遊びが大好き。
流れる水に足をつけたり
オタマジャクシを探したりと
遊びはつきません。
水の音とキラキラ光る川の流れるに
子どもの五感も刺激されます。



公園といえば砂場は定番!
ただひたすら砂を高く山にしたり、
深く穴を掘ったりと子どもは無心に遊びます。
どろんこ遊びやどろ団子づくりも楽しいよね。

どろんこ遊びが
できるといいな。



雨や雪の日にも遊べる
ログハウス。

雨だから公園に行かないのではなく、あえて公園の中にある、ログハウスに遊びに行きます。窓に当たる雨をみたり、雲が流れる空を眺めたり。ゆっくりとした時間の中でお絵かきやぬりえをしたり、ねんど遊びもいいですね。



子育てを楽しみながら、働き続けたいと思って育休をとってみたいものの、仕事復帰に向けて、いつから何をしたらいいのかわからず、子どもが病気になったらどうしたらいいの？パパとママの育児のコンビネーションは、どうやったらスムーズにいくの？いろいろな心配事が頭の中を巡ります。

働くパパ、ママ、仕事復帰までにしておくこと

1 どんなふうに働きたいのかを考えてみよう

育休復帰の人、これから働こうと思っている人は、「働く」ということをどんな風にとらえているのでしょうか？女性は、妊娠、出産を機に「子育てか仕事か」悩むことがあります。そんな時、「なぜ働くのか」「どんな風に働きたいのか」「今の自分が大切にしたいことは何か」「譲れないことは何か」など、私を主語にして書き出してみてください。そうすることで、客観的に自分自身を眺めることができます。働く意味を考えることが、復帰後の心の柱の一つになりますよ。

2 家事・育児についてパートナーと話し合おう

共働きなので、家事、育児はパートナーと一緒にやりたいですね。先輩ママが仕事復帰前にしたアイデアを1つ紹介します。まず、家事育児の項目を細かく表に書き出します。それぞれの項目に担当を入れます。「買い物をする」(ママ)「食器を並べる」(パパ)「食器を洗う」(パパ)「洗濯物をたたむ」(ママ)…のように、具体的に見えるようにすると、全体の仕事量と分担の割合が見えてきます。半分ずつやるのではなく、それぞれの仕事との兼ね合いやお互いの負担を話し合いながら決めていきます。自分たち家族にとって一番良いバランスを考えてみましょう。

働き方はいろいろ

夫は、帰宅が午後9時を回るのがほとんどの忙しい職場でした。私も病院勤務で夜勤のある仕事です。そんな二人に子どもができたとき、夫は言いました「今の仕事を辞めて、定時に帰れる仕事に変わろうと思う。家族と過ごす時間を大事にしたいんだ。できるだけサポートはするから、君には仕事を続けてほしい」と。「家事」「育児」「仕事(収入)」のバランスをみて話し合い、家族のスタイルを作ることになりました。夫は転職。私は仕事復帰。子どもは保育園。さあ頑張るぞ。



3 子どもの預け先を探そう

仕事をするにあたって、子どもを預ける先は、働き方に応じて、保育園、幼稚園、認定こども園、どちらかの両親に見てもらい、保育ママなど、いろいろあります。仕事に復帰する前に、保育園、幼稚園に併設されている子育て支援センターに遊びに行くと、園の様子を見れたり、先生や利用しているママやパパから情報を得ることもできます。保育園などについて分からないことや困ったことがあったら、希望の保育園がある区健康福祉課が相談窓口です。

4 いざという時の頼れる先を見つけておこう

日中、子どもが発熱したり、体調が悪くなって、仕事に保育園から呼び出されることもあります。そんな時のためにサポート態勢を整えておきましょう。ファミリーサポートセンター、ベビーシッター、病児(病後児)保育など、子育て支援サービスを調べておきましょう。事前登録が必要なものもあるので、確認しておきましょう。どちらかの両親に頼めるようなら、「その時はお願いします」と話しておいたり、近所に頼れるママ友を作っておくのも大切です。





おはなしのへや

小さなテーブルイス

ベビーカーが
通しやすい!

広がって
リニューアル
オープン!!

坂井輪図書館

坂井輪図書館が、広がってリニューアルオープンしました。

靴を脱いで本を読む「おはなしのへや」を新設した他、

西区の子育て情報や子育てに役立つ本を置いている「子育て応援コーナー」、

CD・DVDの取り扱いも新たに開始しました。

ちょっとした疑問や質問などは図書館司書が相談に応じますので

お子さんとゆったり、気兼ねなく図書館をご利用ください。



くつをぬいで
ゆっくりお話が聞ける

紙芝居も
あるよ

子どもと過ごす『読み聞かせ』であったかい時間

子どもの成長にとって、まわりの人からやさしい言葉で語りかけてもらうことはとても大切です。

絵本は、あたたかい語りかけの場を自然につくりだすことができます。

どうぞ絵本を読んであげてください。お子さんと触れ合う楽しい時間を持つことができます。

『読み聞かせ』のポイント

- 1 あなたが面白いと思った絵本を選びましょう。読み手の感動が伝わるものです。
- 2 子どもは好きな絵本を繰り返し読んでもらいたがります。気にせず何度でも読んであげましょう。
- 3 どんな本を読んであげたらいいのか迷ったら、遠慮なく司書にご相談ください。ブックリストも用意してあります。



<坂井輪図書館司書>

武田さん 長谷川さん

大門さん

坂井輪図書館司書の『読み聞かせ』おすすめ絵本



おすすめする人
武田 瑞美子さん

『おしり』

三浦 太郎 作
講談社 / 2008

あひるさん、ぶたさん、ぞうさん、おさるさん、動物の顔のページをめくれば見開きいっぱいみんなのおしり! わたしのおしりはどんなおしりかな...? やわらかいタッチの絵で赤ちゃんとの触れ合いにぴったりの本です。



おすすめする人
大門 あす美さん

『ぼく、いってくる!』

マチュー・モデ作・ふしみみさを訳
光村教育図書 / 2013

「ぼく、いってくる!」ことりのぼうやは決心しました。するとママやパパが心配している持たせてあげます。荷物をいっぱい持ったことりのぼうやの行き先は...?最後が気に入り親子で楽しめます。



おすすめする人
長谷川 明子さん

『カエルのおでかけ』

高島 那生 作
フレーベル館 / 2013

今日は朝から大雨。こんな「いい」天気の日にはお出かけだ!とカエルは外へ飛び出します。雨の中、公園でお昼を食ったり昼寝をしたり。雨がやんでしまっても、秘密の道具があるから大丈夫! 雨の日のカエルのお出かけが生き生きと描かれています。

坂井輪図書館では、ボランティアの方や職員による、読み聞かせが楽しめる「おはなしのじかん」を行っています。西区(坂井輪・内野・黒崎図書館)共通のスタンプカードでスタンプを集めるとプレゼントがもらえます。

『おはなしのじかん』 毎週火曜日 / 10:30~16:00の 好きな時間に 10分程度。 第2 第4土曜日 / 10:30~11:00	『赤ちゃんタイム』 毎週火曜日 / 10:30~13:00
--	----------------------------------



坂井輪図書館

新潟市西区寺尾上3-1-1 TEL025-260-3242

開館時間 / [月~木・土] 10時~19時 [日・祝] 10時~17時

休館日 / 毎週金曜日・毎月第1水曜日 年末年始(12/29~1/3)

返却ポスト / あり(開館時間を除く終日受付)

- 新潟市にお住まいの方は、どなたでも貸出カードを作ることができます(0歳からOK)。現住所を確認できるものをお持ちください。
- 本・雑誌10冊と視聴覚資料(CD・DVD)2点を2週間借りることができます。
- インターネットからも資料の予約やリクエストができます。予約をしておく、スムーズに本が受け取れるのでオススメです。

「しつけ」ってなんですか？

角張 慶子

「しつけていつからすればいいの?」「そもそも、しつけて?」「わたし、うまくしつけができていいのかしら?」こんなことを感じたことはありませんか。子育て中のお母様方からよく聞きする質問です。子育てについてたくさんの情報があふれている現代では、あふれているからこそ、子育てについて迷ったり戸惑ったりすることがありますよね。

子どもは、社会で生活していく中で「どのような振る舞いが良くて、何がダメなのか」「何が危ないことで、何が大丈夫なのか」などといったその社会におけるルールを知らないまま生まれてくるので、育ちの中でそれを身につけていくことになります。子ども自身、「どっちかな?」「どうしたらよいのかな?」と迷う場面が沢山あり、その都度、最初はその「どうしたら…?」の部分身近なおとな(親など)の判断や指示に頼りながら生活しているのです(これを「他律」といいます)。ですから子育てにおける「しつけ」とは、子どもが自ら社会の中で生活していくことができるように(自立)、自分自身で自分をコントロールしていけるように(自律)、そこまでのお手伝いをすること。これが「しつけ」の役割です。

しつけは子どもの発達に合わせて

しつけは、子どもの年齢に応じて、またその社会(もしくは親)のルールや価値観によってそのあり方が異なってきます。たとえば、まだ言葉で表現できない0歳の赤ちゃんにとって「泣く」というのは自分の不快等を周囲に知らせるための「正しい」手段です。その赤ちゃんが公共の場で泣いたからといって「静かにしな

い!」と言っても、これはしつけにはなりません。赤ちゃんの不快のもとを取り去る・安心を与える・環境を整えるなどして周囲のおとなの側でコントロールして赤ちゃんが気持ちを落ち着かせるお手伝いをしてあげる場面です(これもしつけです)。これが、年齢が上がるとどうでしょう。2・3歳のおしゃべりが大好きな時期にバスに乗り嬉しくて興奮して窓の外を見ながら「あ! 車だ! 川だ!」と大声を出していたとしましょう。嬉しくなって大きな声が出るというのも子どもの発達の観点から言ったら自然な自己表現の仕方です。ですからここでもただ「静かにしなさい!」とその気持ちを“べしちゃんこ”にするだけではしつけにはつながりません。子どもにとってそうしてはならない理由と、ではどうしたらよいのか、が伝わらないからです。子どもの嬉しい気持ちは受け止めつつ、たとえば「他にもお客さんがいるのでもう少し小さな(優しい・ありさんみたいな)声でおしゃべりしようね」などと子どものわかる話し方で伝えていくが必要になってきます。

ここで大事なものは、「すぐに行動を変えることを目指さない」ということです。子どもはすぐ同じことを繰り返すものです。手間と時間のかかることですが何度も何度も同じような場面で伝えていくことが大事になります。ですから、それを“見守り”“待つ”勇気がおとなの側に必要になりますね、親にも周囲のおとなにも、です。しつけは親の役割の一つではありますが、親だけの仕事ではありません。地域のおとなが子どものモデルとなる、子どもの育ちを見守る…。そんな社会全体の雰囲気が大切だと思います。子どものしつけには親以外のおとなの姿勢も問われているのです。



しつけの
ポイント

しつけというと「叱る」「ほめる」と思われがちですが、必ずしもそれだけではありません。

いくつか、ポイントをあげてみたいと思います。

その1 親が(おとなが)お手本になる

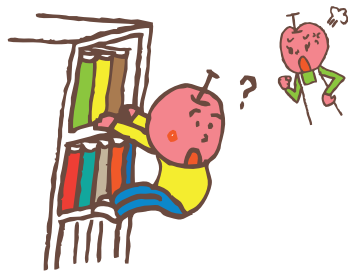
これもしつけです。朝起きたら「おはよう」、近所の方にお会いしたら「おはようございます」、「いただきます」「ありがとう」「ごめんなさい」…。

子どもはすべてを教えてもらって覚えるのではなく、自分で観察して学習する力を持っています。周囲の人をモデルにして社会のルールを学ぶのです。子どもは真似っ子が大好きですよ。真似する→ほめられる→もつとする、こんな風に自然に行動を身につけていくこともしつけのひとつです。「しつけはいつから?」…そう、しつけは生まれたときからすでにスタートしています。



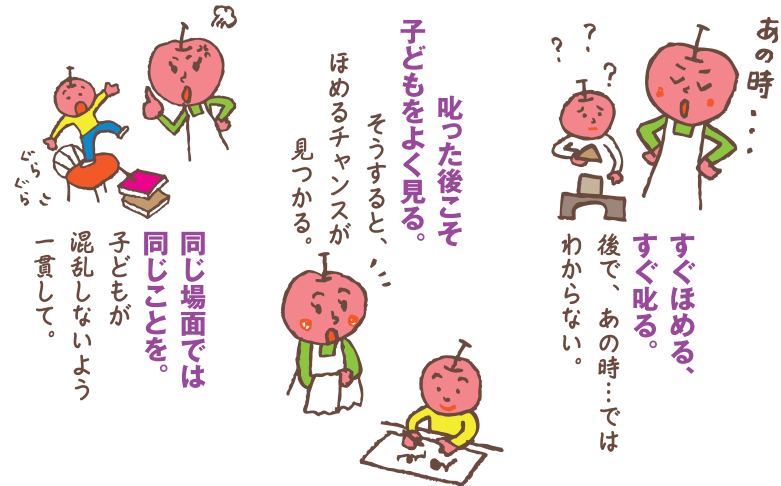
その2 きちんと「伝える」

良いこと、悪いことなどをきちんと「伝える」ことは大事です。ときに伝えるつもりが感情だけがでて「怒る」になることもありますよね。親も人間です。感情をストレートに出す…そのこと自体は自然なことだと思います。ただ、そん



な時、たくさんの情報処理を一度にできない子どもにとっては、残念ながらどうも「お父さんお母さんが怒っている」ことだけが伝わって「本当に伝えたいこと」が伝わっていないようです。怒り損といたところでしょうか…。怒った後は、落ち着いた後(お互いに)、何を伝えなかったのか「短く」話してあげるとよいでしょう。

その3 ほめるとき・叱るときは…



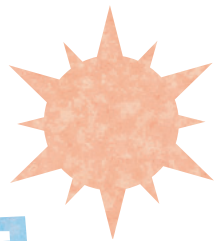
とは言っても、完璧な正しい子育てやしつけなどありません。ときに、感情をぶつけ合ったり真剣に葛藤したりする…そんな過程が子育てだと思います。肩の力を抜いて笑ってみる。親のそんな姿も子どものモデルになるはず。ゆったりまいりましょう。



角張 慶子先生
新潟県立大学人間生活学部
子ども学科 准教授。
臨床心理士。

専門は発達心理学。親の発達・子育て支援を研究テーマとし、県内各地にて発達や子育て支援に関する講演・講座、子育て支援活動を行う。小1男児と3歳女児の2児の母。

子どもと 過ごす時間



子どもと過ごす時間は、大人にとっても
楽しいものであって欲しいですね。

大人と子どもと一緒に楽しめるアイデアをご紹介します。

育てて食べる

自分が食べるものを育てることは、子どもにとって良い経験になります。

ミニトマトやきゅうりなどは育てやすく簡単です。

子どもたちは脇芽つみや水やりのお手伝いができます。

花が咲き、トマトの実が膨らみ、

緑色から真っ赤になったらお待ちかねの収穫です。

きゅうりの収穫はトゲに気を付けて!

収穫後は、サラダなどに盛り付けたり、

そのまま丸かじりするのもいいですね。

とれたての味を味わえるのも、自分が育てて食べる魅力です。



楽しみながら育てて、おおきくなった野菜と一緒に食べる。
そんな時間を親子で一緒に過ごしてみませんか?



ミニトマトとブロッコリーの カラフルサラダ

手づかみやフォークなどで、
自分で口に運びたい時期の
子どもたちにピッタリ。
子どもと一緒に飾り付けしても楽しいね。

こんな1品
いかがですか?



モzzarellaチーズと
ミニトマトのカプレーゼ
黒ごまで目や口をつけても可愛いよ!

ボードゲーム・カードゲーム

家族でゲームで遊んだことは、大人になっても暖かい思い出として残ります。ドイツにはたくさんの家族向けボードゲームがあり、日常的に家族で楽しんでいるそうですよ。会話も弾みます。



天候の悪い日でも
お家の中で楽しめる
アイテム



文：おもちゃコーディネーター
横山 智香

クラフト

蜜ろうクレヨンや蜜ろうねんど、トランスパレントペーパーなどを使って、のびのびと表現を楽しみます。質の良い素材を使うと、それだけで美しい作品に仕上がります、心も落ち着きます。



手仕事

子どもにも使えるはた織り機や羊毛あそび、リリアンなどがあります。作品作りを楽しみながら、ものができあがっていく仕組みを知ることができます。お家で使える小物を作ると更に楽しみが広がりますね。



いつも見てくれている
両親の都合が悪いときに
預かってもらってます。

双子の
乳幼児健康診断に
同行してもらいました。

就活の説明会や
面接の時に預かって
もらいました。

月3回ほど買い物や
歯科医へ行くときに、
利用しています。

子どもの登校時間に
合わせて家を出ると
会社に遅れてしまうので、
朝、お願いしています。

こんなときは
『ファミサポ』!!

こんな使い方をしています!

出産後に、
上の子の保育園の
送迎をお願い
しました。

体験レポート

週に一度くらい、ご近所の提供会員さんが学童保育へ迎え
に行き、私の残業が終わる夜7時くらいまで小学1年生の
子どもを預かってくれます。安心して子どもを預ける先
があるのは本当にありがたいですし、子どもが楽しそうに
「今日は〇〇して遊んだ」と報告してくれるのがうれしいです。
西区・岩村さん(仮名)

にいがた市の子育て支援

ファミサポ

新潟市ファミリー・サポート・センター(通称:ファミサポ)は、
「育児を応援してほしい人」と「応援したい人」を結びます。

新潟市ファミリー・サポート・センター

新潟市中央区八千代1-3-1(新潟市総合福祉会館3F)

TEL025-248-7178

月～金 8時30分～17時15分

活動時間 月曜日～日曜日 / 朝6時から夜10時
※上記以外の時間は活動できません。

利用金額 月～金 朝8時～夜7時 700円 / 時間
土・日・祝及び上記時間外 800円 / 時間
※預けた方が預かった方に直接支払う謝礼です。
※緊急時等は、利用金額が変わります。

にいがた市の子育て支援

ファミサポ 利用の仕方

会員登録をしよう

*入会金・年会費は無料です

子育てを手伝ってほしいあなた
『依頼会員』

子育てを応援したいあなた
『提供会員』

- ①会の趣旨を理解し了承する
- ②依頼会員は保護者、提供会員は本人の写真
プラス運転免許証など現住所が確認できるものを用意
- ③センター窓口もしくは各区で開催する入会説明会に参加して会員登録する
- ④会員証をもらう、もしくは送られてくる

●育児を「応援してほしい方&応援したい方」は両方会員として登録できます

Q:電話とかメールではだめですか?

A:大切なお子さんを安心して預かるために必要な
会のルールを直接お伝えしています。お手数でもセン
ター窓口もしくは入会説明会にご参加ください。
お子さん連れでもスムーズに手続きができるよう個室
(和室)の登録受付も用意しています。

研修(提供会員) *研修は無料です

- ①市報や市や市社協のHPで研修の日程を調べる
- ②研修に参加する
- ③自分が活動できる地域や曜日、時間帯をセン
ターに伝える

利用のながれ

①ファミサポに電話する

①ファミサポから依頼の電話がくる

②アドバイザーが条件に合った会員さん同士をご紹介

③『依頼会員』は、お子さんと『提供会員』のご自宅(原則)で事前打ち合わせ

④活動スタート

それって
しつけですか？



STOP!! 児童虐待

養育者（保護者など）が子どもに対して、身体的な暴行を加えたり、適切な養育をしないで子どもの心身を傷つけ、健全な成長と発達を損なわせる行為をいいます。
「子どものためのしつけだ」と考えていても、子どもにとって有害であり、子どもが苦痛を感じていれば『虐待』になります。



子ども虐待防止 オレンジリボン運動

『オレンジリボン運動』は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。児童虐待防止全国ネットワークでは、オレンジリボン運動を通して子ども虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。

『子育てを“孤育て”にしないために!』一緒に子育てできる仲間を見つけませんか？

Nobody's Perfect~完璧な親なんていない~

NP プログラム

0歳～5歳の子どもを持つ親を対象に、グループでお互いの体験や不安を話し、交流し合う中で、子育てスキルを高め、自分にあった子育ての仕方を学びあうプログラムです。進行役のもと、関心のあるテーマで楽しく学びながら、他の親とサポートしあえる関係を作ります。(保育つき)

●西区では平成27年度、春と秋に開催予定です。詳しい日程は、西区健康福祉課児童福祉係へお問い合わせください。

どんな行為ですか？ 以下の4つの種類に大別できます。

👏 身体的虐待…子どもの身体を傷つけること

首を絞める・殴る・蹴る・激しく揺さぶる・熱湯をかける・濡れさせる・逆さ吊りにする・異物を飲ませる・タバコを押し付ける・冬に戸外にしめだす・意図的に子どもを病気にさせるなど



👏 性的虐待…児童にわいせつな行為をすること、させること

子どもへの性交・性的暴力・性的行為の強要・性器や性交を見せる・ポルノグラフィの被写体などにするなど



👏 ネグレクト…養育の怠慢、拒否

食事を与えない・衣服を長期間ひどく不潔なままにする・重大な病気になっても病院に連れて行かない・乳幼児を家に残したまま度々外出する・子どもの意に反して学校等に登校させない・子どもに対する祖父母、きょうだいなどの身体的虐待、性的虐待または心理的虐待を放置するなど



👏 心理的虐待…子どもに著しい心理的外傷を与えること

言葉で脅迫する・無視する・拒否的な態度を示す・子どもの心を傷つけることを繰り返し言う・他のきょうだいとは著しく差別的な扱いをする・子どもをあざ笑う・子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど



どうしておきるの？

一概にはいえませんが児童虐待は、身体的、精神的、社会的、経済的などのいろいろな要因が複雑に絡み合って起こると考えられています。

どうしたらいいの？

児童虐待は、家庭内で起きているもので発見されにくい状況にあります。早期発見・早期支援につなげるため、あなたの身近に子どもが泣き続けていたり、何か気になることがあったら、区役所や児童相談所まで相談してください。

児童虐待は、どれをとっても子どもの人権を著しく侵害し、子どもの心身の成長および人格の形成に重大な影響を与えるとともに、次の世代に引き継がれるおそれのあるものです。これからの次代を担っていく子どもたちが健やかに成長していけるように、社会全体で支援していくことが重要です。

連絡先 西区役所 健康福祉課 児童福祉係
TEL025-264-7340

新潟市 児童相談所
TEL025-230-7777

親子の絆づくりプログラム”赤ちゃんがきた!”

BP プログラム

子育ては不安や悩みがいっぱい! 何でも聞いて、何でも話せる!! 初めての赤ちゃんを育てている母親と赤ちゃんと一緒に参加するプログラムです。仲間作りと育児のスキルアップを応援します。

●今後の開催予定は「KKI新潟」のホームページでお知らせしています。

西区ではこんな
取り組みをしています



kkiniigata 検索

児童虐待や配偶者暴力(DV)の相談

母子・家庭児童相談

西区役所健康福祉課

TEL025-264-7300

月～金 8:30～17:30(休・祝日、年末年始を除く)

配偶者暴力相談支援センター

新潟市配偶者暴力相談支援センター

TEL025-226-1065

電話相談/月・水 9:00～17:00 火・木・金 9:00～20:00

面接相談/月～金 9:00～17:00(休・祝日、年末年始除く)

その他の相談窓口

新潟市児童相談所 中央区川岸町1-57-1

TEL025-230-7777

月～金 8:30～17:30(休・祝日を除く) ※面接相談は要予約

新潟市幼児ことばとこころの相談センター 中央区水道町1-5932-621

TEL025-231-6178

月～金(休・祝日を除く)8:30～17:30 ※面接相談は要予約

県立教育センター・相談支援センター 西区曾和100-1

電話専用 TEL025-263-4737

月～金 9:10～16:00(休・祝日を除く)

面接専用電話 TEL025-263-9029

月～金 9:00～17:00(休・祝日を除く)

アルザにいがた相談室『こころの相談』 中央区東万代町9-1[万代市民会館3階]

TEL025-245-0545

電話相談/火・金 14:00～20:00(受付時間19:30まで)

水・日 10:00～16:00(受付時間15:30まで)

面接相談/火・水(第4除く)・木・金・土 10:00～17:30

それって
しついですか?

STOP!!
児童虐待



編集後記

Thank you!



NISHIKU 私たち『はぐくみ』

hug kumi

編集委員になって、自分の育児を振り返る時間をもらった事で、育児のイライラが少し減り、子供を待たせられるようになったかなと感じています。

★斉藤 和

編集委員になり、沢山のママさんから子育ての話や悩みを聞く事ができました。悩んでいるのは自分だけじゃない！と再確認。また子育て頑張れそうです。

★宗村麻美

新潟に住んで日が浅いので、編集委員になり遊ぶ場所や、支援センターなど子育ての情報を知る事ができ良かったです。

★玉城純子

居場所・支援センターの取材で、特色や居心地の良さ、周囲の方々との交流や、つながりの大切さをあらためて感じました。

★若井綾子

たんとと子育てに追われる日々の中、他のママとの情報交換や、支援センターの取材で、たくさんの刺激をもらうことができました。

★佐々木晴代

編集委員になって、今までと違った広い視野で子育て支援について考えることができました。とても充実した時間が過ごせて良かったです。

★加藤樹里

今回のNP*のメンバーは先輩ママさんが多くて座談会では色々な体験談が聞けて今後の育児の励みになりました。

★水内道子

※NP: P27TNP プログラム参照

みなさんのお話の中で、改めて子育てに答えは一つじゃないと感じました。これからは私の子育てを探して行きたいです。

★小林亜希子

編集委員になって、いろいろな方から様々な意見を聞いて視野が広がりました！良い経験ができました。

★加藤久美

ママたちや地域の方への取材を通し、ママの素直な思いを知り、地域の方の思いやりの気持ちを感じ、温かい気持ちになりました。

Assistation★宗村瑞枝

今年も子育て真最中のママ達が協力してくれました。ママの困っている事と地域の手助けしたい思いが上手くつながるといいですね。

Assistation★渡辺晶子

小さな冊子の中の親たちの声が地域に届きますように。子どもを育むことが、地域を育む元になる。そんなきっかけになると嬉しいな。

Assistation★立松有美

● hug kumiとは・・・

親子とも抱きしめ (hug) みんなで手を組み (kumi) 子どもたちを育てていこう！の想いで作りました。